



### 5. 警報器の点検方法

次の方法で警報器の作動を点検することができます。

- ① ランプ(白色)が点灯していることを確かめてください。ただし、電源プラグをコンセントに差し込んだとき、約1分間は、そのままお待ちください。
- ② 付属の点検ガスの先端を警報器のガス検知部(点検口)にあててください。
- ③ 点検ガスの容器(胴部)を連続して指で押して容器内のガスを吹き付け続けてください。
- ④ ランプが赤色点滅して警報ブザーが鳴り続けます。
- ⑤ 点検ガスの吹き付けをやめると、ランプが赤色点滅・白色点灯に変わり、警報ブザーも鳴りやみます。



### 注意

#### 禁止

- ① 付属の点検ガス以外は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

#### 必ず行う

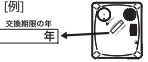
- ② 小さなお子様がいるご家庭では、点検ガスは、お子様の手の届かないところに保管してください。目に入った場合は、すぐ目洗い、医師の治療を受けてください。誤って、飲みこんだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- ③ 点検ガスがなくなりましたら、指定のものを販売店でお買い求めください。

※点検ガスを取り替えても、警報ブザーが鳴らなるときは、7. アフターサービスについて(P.9)をお読みください。  
※点検ガスは薄黄色の筒に入っており、ご使用後はふたをしっかりと閉めてください。(点検ガス容器下部に青色半透明の図形物が少なくなる場合、警報ブザーが鳴らない場合があります)  
※点検ガスを使用する、定期的な点検を行ってください。

p.8

### 6. 交換期限

この警報器の有効期限は、警報器本体に表示された製造年月より5年以内です。交換期限表示に記載された交換期限の年を目安にしてください。警報器は必ず交換期限内に交換してください。



### 7. アフターサービスについて

- ① **保証**  
製品および保守点検については、添付の保証書に基づき、警報器本体に表示された交換期限の範囲内で保証いたします。保証書の記載内容に基づき販売店で点検または交換いたします。
- ② **更新**  
交換期限を過ぎたものは、保証できません。警報器は、安全機器です。必ず新しいものとお取り替えください。
- ③ **点検**  
交換期限内の警報器が正常に作動しない場合は、販売店に点検を依頼してください。交換期限の警報器が正常に作動しない場合は、販売店に点検を依頼してください。交換期間の警報器が正常に作動しない場合は、販売店に点検を依頼してください。交換期間の警報器が正常に作動しない場合は、販売店に点検を依頼してください。

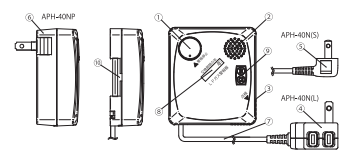
状態	原因	処置
ランプが点灯しない	・電源プラグがはずれている。 ・停電している。 ・電源ブレーカが切れている。	・電源プラグをコンセントに差し込む。 ・電源ブレーカを入れる。
点検ガスで警報ブザーが鳴らない	・ガス検知部(点検口)を開通していない。 ・点検ガス容器(下部)に青色半透明の図形物が少ない。	・正しい位置で点検する。 ・新しい点検ガスを買求める。
ガスもれの様子がないのに警報ブザーがなった	・近くでスプレー、殺虫剤、シンナーなどを使用した。 ・湯、ミソなどの濃い蒸気がかかった。	・窓や戸を開け換気する。

- ④ この警報器についてお支払いの点、ご不明の点がありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。  
●保証書は大切に保管してください。

p.9

### ご販売店様および警報器をご使用になる皆様へ

#### 8. 各部の名称と働き



- ① ランプ及び警報音 …… ●電源が入ると白色点灯し赤色点滅、白色点灯し、約1分後にガスもれ検知可能な状態となり、ガスを検知しガス濃度が警報設定値に達すると、ランプが赤色点滅します。  
●ガスもれ警報中に警報音停止ボタンを1秒以上押すと、警報音が約1分間停止します。  
●監視時に約1秒以上押すと、警報ブザーとランプ(赤色点滅)の動作確認ができます。
- ② 警報ブザー …… ●ガスを検知しガス濃度が警報設定値に達すると、ランプが点滅して警報ブザーが鳴ります。
- ③ ガス検知部(点検口) …… ●ガスを検知します。
- ④ 電源プラグ …… ●予備コンセント(アドオンプラグ)付です。APH-40N(L) 最大149Wまでの電気製品に使用できます。APH-40N(S) L型プラグです。予備コンセントはありません。
- ⑤ APH-40NP …… ●壁面のコンセントに直付けするタイプです。
- ⑥ 電源コード …… ●警報器に電源AC100Vを導くコードです。
- ⑦ 交換期限表示 …… ●警報器を交換していただく年を表示しています。
- ⑧ 検定合格証 …… ●高圧ガス保安協会に検定に合格したことを証明しています。
- ⑨ 取付板装着溝 …… ●取付板を取り付けます。

p.10

### 9. この警報器の機能について

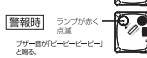
#### ガスもれ警報機能

警報器周囲のLPガスが規定濃度以上になるとランプが点滅し警報ブザーが鳴ります。



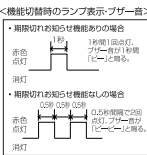
#### 期限切れお知らせ機能

警報器の交換期限が過ぎるとランプが右下の図のように点滅します。警報器が正常に作動しない恐れがありますので、お求めの販売店に連絡し、警報器を交換してください。



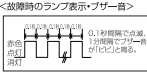
#### <期限切れお知らせ機能解除/再設定方法>

- ① 警報音停止ボタンを押し、そこから電源プラグをコンセントに差し込みください。受付音がビーンと鳴ります。
- ② そのまま警報音1音がするとランプが赤く点滅しブザーが鳴り、期限切れお知らせ機能が解除されます。
- ③ 期限切れお知らせ機能の解除は、何回でも可能です。お求めの販売店に電話して解除された場合はお求めの販売店に期限切れお知らせ機能を再設定いただく必要があります。



#### 故障お知らせ機能

ガスが正常に検知できなくなると、ランプが点滅し警報ブザーが鳴ります。故障警報中に警報音停止ボタンを押すと、警報ブザーを約3分間停止させることができます。



p.11

### 注意

- ③ 次のようなところには取り付けしないでください。警報が遅れたり、正しく機能しなかったり故障の原因となる場合があります。

#### 禁止

1. 1. アフターサービスなど風通しのよいところ、すきま風の入るところ
2. 浴室内、水や水気のかかる場所、および水漬のつくところ
3. カーデットウォール等で切られるところ
4. 振動、衝撃の多いところ
5. 使用時しか電源を入れないところ(ビルや湯沸房で、夜間電源を切る)
6. 温度が-10℃以下、または、40℃以上になること
7. 台所設備等でさえぎられる場所
8. 新築の建物等で、下記のような化学薬品を内装に使用していること  
●シリコン ●塩素 ●アルコール
9. ラジオとの距離が近く、ラジオに雑音が入る場合

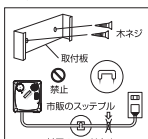
p.13

### 11. 取り付け方法

まず、10. 取り付け位置(p.12~13)にしたがって警報器の取り付け位置を決め、以下を行ってください。

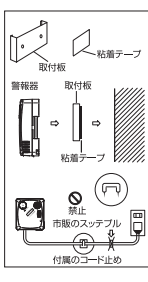
#### A. 木ネジによる取り付け

- ① 壁面の材質、強度およびAC100Vのコンセント位置を確認してください。
- ② 取付板を木ネジで壁面に固定します。
- ③ 取付板の両側に警報器側面の取付板装着溝を合わせ、正面からカチンと音がして固定されるまで押し込んでください。
- ④ 電源コードを付属のコード止めで固定してください。



#### B. 粘着テープによる取り付け

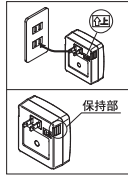
- ① 壁面の材質、強度およびAC100Vのコンセント位置を確認してください。
- ② 取り付け位置のゴミや水分、油分等をふきとってください。
- ③ 粘着テープの片の上紙をはかして取付板に貼ってください。
- ④ 取付板に貼った粘着テープのもう片の上紙をはかして壁面に貼ってください。このとき、壁面と取付板が密着するように壁面に充分押し当ててください。
- ⑤ 取付板の両側に警報器側面の取付板装着溝を合わせ、正面からカチンと音がして固定されるまで押し込んでください。
- ⑥ 電源コードを付属のコード止めで固定してください。



p.14

### C: 40NPの取り付け

- ① 警報器本体をコンセントに差し込みます。警報器背面に表示されている矢印の向きに合わせて取り付けください。  
※電源プラグは確実に差し込んでください。  
※上下を正しく取り付けてください。逆に取り付けると、水やほこりなどが入りやすく、漏電や発火の原因となります。
- ② 警報器本体をコンセントに差し込むとき、コンセントから抜くときは、両側にある右の図の保持部を持って行ってください。



### 12. 作動テスト

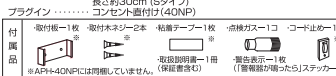
- ① 電源プラグをコンセントに差し込む。ランプが白色点灯し赤色点滅後、白色点灯してから約1分間は、警報器が作動状態に入る準備時間です。この約1分間はガスがかかっても警報ブザーは鳴りません。(停電復帰時も同様です。)
- ② 約1分後(作動状態) 可燃ガスもれ検知可能な状態となります。
- ③ 前項より、警報器の点検方法(p.8.)にしたがって警報器の作動テストを行ってください。



p.15

### 13.仕様

対象ガス …… ●液化石油ガス(LPガス/プロパンガス)  
警報ガス濃度 …… ●燃焼下限濃度の1/100~1/4  
検知方式 …… ●接触検知方式(熱線式)  
警報方式 …… ●ランプ点滅(自動復帰式)  
警報ブザー音階 …… ●ヒートビート音階  
警報音停止ボタン時 (約1分間のブザー音停止)  
電源 …… ●AC100V 50/60Hz  
消費電力 …… ●通常時:約1.2W、警報時約1.5W  
使用温度範囲 …… ●-10℃~+40℃  
寸法(単位 …… ●幅70×高さ78×奥行45(突起部を除く)27mm(L5タイプ)  
34mm(APH-40NP)190g(L5タイプ)、約100g(スタイブ、40NP)  
電源コード …… ●長さ約30cm(スタイブ)  
…………… ●コンセント直付け(40NP)



### ご販売店様へのお願い

#### 14. 保証書・警告表示への貴店名の記入

- ① 取扱説明書・保証書の所定の欄に貴店名・所在地・郵便番号・電話番号をはっきりと記入してください。
- ② 警告表示(「警報器が鳴ったらステッカー」)の所定の欄に貴店名と電話番号をはっきりと記入してください。

### 15. お客様へのご説明

- お客様へ次の事項を説明のうえ、ご理解を得てください。
- ① この取扱説明書の記載内容をよくお読みのうえ、正しくご使用していただくこと並びに使用方法をご説明の上、ご理解をいただくこと。  
この取扱説明書には、保証書(保証期間、交換期限表示に記載された期間内)が付いていますので、お客様に大切に保管していただくこと。
  - ② 添付の「警告表示(「警報器が鳴ったらステッカー」)」をよくご説明のうえ、見やすい場所に貼っていただくこと。

p.16

### 10. 取り付け位置

- ① 液化石油ガス(LPガス/プロパンガス)は、空気がより重く、下の方向にたまりやすいため、警報器上部が床面より20cm以上、30cm以下の高さで、ガス器具やガス栓(元栓)の最も遠いところより水平距離で4m以内の場所にお取り付けください。取り付け位置が正しくないと、警報の遅れにより正しく機能しない場合があります。※40NPはコンセント上に電源を満足するように取り付けください。満足できない場合は、40N(L)をご使用ください。



p.12

### ※保証の適用除外

- 本製品は保証期間内でも次のような場合、保証の適用外となります。
- (1) 分解、改造、落下、その他ご使用上の誤りによる故障または損傷。
  - (2) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、異常電圧、異常温度などによる故障または損傷の場合。
  - (3) 取り付け位置が屋外、高温多湿等、著しく不適切な場所および浴室に取り付けた場合。
  - (4) LPガス以外のガス、水、蒸気、乾燥剤、その他腐食または損傷。
  - (5) その他製造業者の責任と認められない場合。
  - (6) 本保証書の所定事項への記入、あるいは字を書き換えられた場合。
  - (7) 本保証書の添付がなかった場合。

#### ※ご注意事項

- (1) 警報器の作動確認は、付属の点検ガスを使用してください。
  - (2) 本保証書は、再発行いたしません。紛失しないように大切に保管してください。
  - (3) 交換期限を過ぎた製品は保証いたしません。警報器は安全を守るための製品ですから、必ず新しいものとお取り替えください。
- ご購入いただいた個人情報は、保証期間内の無料点検・交換対応のために利用させていただきます。この保証書は、お客様の承諾の上、上の権利を制限するものではありません。また、警報器について不具合の場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

お名前 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

お電話 ( ) \_\_\_\_\_

本保証書は日本国内のみ有効です。  
※ This warranty is valid only in Japan.

p.17